

# 放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日： 2021 年 1 月 9 日
事業所名：児童発達支援 夢門塾御幸

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4			部屋数や、活動内容に応じて、時間をずらすなど工夫をして有効的に使用している。
	② 職員の配置は適切である	4			個別支援が中心であるが、小集団でも対応できるよう職員の配置はある。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	4			療育が終了したらその都度喚起、消毒を行えている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			毎日の朝礼の時や、一日の終わりに、職員で話し合いをしている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている		4		8月に開所した為、この度が初めてである。この度の保護者様からの声を真摯に受け止め、改善につなげていきたい。
	⑥ 自己評価の結果を公開している		4		8月に開所した為、この度が初めてである。きちんと公表して今後に繋げていきたい。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	3	1		8月からの為、参加経験はあるが、機会は少ないと思う。今後、色々な会議・研修に参加して資質向上につなげていきたい。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			児童発達支援管理責任者を中心に個別計画を立てている。その都度職員で意見交換をし、色々な角度から見て、行えている。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	4			毎日の療育、1ヶ月の療育を、職員で話し合い、取り組めている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			1日の療育が終わったら、職員間で反省を行い意見交換をしている。同時に、雑誌・他事業所の内容、も確認して固定化しないよう努めている。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			一日に療育のタイムスケジュールを毎回作成し、課題の確認をみんなで行っている。また、季節の行事を取り組めるように、年間スケジュールを作成している。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			1対1の療育を中心に行っているが、お子様の年齢に応じて、小集団での取り組みも行っている。無理に小集団に移行するのではなく、お子様の状況を確認しながら行っている。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			朝の申し送りの時、個々の療育のタイムスケジュールを、職員間で確認している。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			提供記録への記入はもちろんだが、お子様一人一人のスマールステップが把握できるように、記録を行っている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			児童発達管理責任者を中心に、定期的にモニタリングを行えている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	2	2		ガイドラインを中心に支援を行うよう努めているが、より一層確認していく必要を感じる。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている		4		利用している子どもたちの通っている幼稚園・保育所に、毎月訪問をしている。情報交換に努めているが、コロナ対策の為もあり、長時間の話し合いが難しいこともあった。情報共有を大切にしていく必要がある。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている		4		児童発達支援の為、前に利用していた事業所はない。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		4		今年度開所したため、児童発達支援を卒業して、放課後等デイサービスに行った利用児童はまだいない。今年度卒園をして同事業所の放課後等デイサービスを希望される方については、連携を取り、情報を共有できる体制にしている。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4		毎月、センター等に、訪問しているが、今後はより、連携が取れるようしていく必要がある。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			毎回の療育の後の振り返りの時間に、その日のお子様の状況を、写真・ビデオでお伝えしている。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に、説明をしている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4			モニタリンの時はもちろんだが、日々の振り返りの時間に、相談されることもあり、その都度一緒に考えていくように、している。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策の為本年度は開催が困難であった。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			現在のところは、苦情はお聞きしていないが、苦情があった時の対応の仕方は職員間で共有している。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			毎月、ゆめだよりの発行と、定期的にブログの更新を行い、情報の発信は行っている。
	㉗ 個人情報に十分注意している	4			個人情報について十分には気を使い、二重三重のチェックを行っている。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			情報伝達がスムーズに行えるよう、視覚による伝達など、配慮している。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		4		ボランティアに来たいと言う声をいただいているが、現在のコロナの状況であるため見合せている。
	㉚ 緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	3	1		より一層、周知できるよう、みんなで考えていく。
非常時などの対応	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	3	1		おひさまクリニック、放課後等デイサービスの、避難訓練に参加している。今後は独自の訓練も、計画していきたい。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			虐待防止の研修にみんなで参加した。今後は、研修したことを踏まえより一層適切な対応が出来るようみんなで考えていく。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			身体拘束については、契約時に十分説明をしている。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている		4		療育中の、与薬は今のところない。今後も、保護者様と確認をとりながら、取り組みたい。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			毎日の療育の中で、危険に感じた事、気を付けた方が良いことを、確認しあっている。



